

生徒主体で行う「命を守る訓練」

2月1日に「命を守る訓練」を実施しました。今回のねらいは、「①非常時に生徒一人一人が状況を判断し、自他の命を守る行動をとることができる。②訓練を自分事として捉え、今後起こりうる非常時に備えて振り返りを行うことができる。」です。

今回は、「掃除への移動中に、震度7クラスの地震が起り、火災が発生。放送機械は壊れて使用不能。火災はどこで起きているのか不明」といった想定です。各自が、今まで学習したことを繋げて考え、判断し、行動することが求められます。

講師の先生から、「校舎から離れて避難すること。」「安全確保をしながら、移動するのか、留まるのか、右へ行くのか、左へ行くのか、1列で行くのかを考えて、行動すること。」「避難の速さが大事ではなく、いかに安全確保をしながら行動することが大事であって、そのためには、会話をすることも必要である。」「安全を確保するために、多少時間がかかってよい。」等々、様々な視点からご指導をいただきました。

